

疫学研究・臨床研究に関する情報の公開について

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	難治性脳動脈瘤に対するバイパスを併用した後大脳動脈閉塞術の効果に関する研究
当院の研究責任者	脳神経外科 部長 吉野 正紀
本研究の目的	脳動脈瘤の中で、内頸動脈瘤や脳底動脈瘤で瘤自身から流量の多い後大脳動脈が分枝している場合は治療が困難で、破裂や増大が制御できなくなることが多いです。また、後大脳動脈瘤の一部も従来の治療方法では効果が少ないです。このような例に対しては脳血管バイパス術を併用した後大脳動脈への治療的閉塞が有効である可能性があります。本研究では、これらの難治性脳動脈瘤に対する脳血管バイパス術を併用した後大脳動脈の治療的閉塞を集積し、その治療成績と予後を調査することを目的とします。
調査データ 該当期間	西暦 2006 年 1 月から 2026 年 4 月までの情報を調査対象とする
利用又は提供を開始 する予定日	西暦 2026 年 8 月から
研究の方法 (使用する情報)	●対象となる患者さま 2006 年 1 月 1 日から 2026 年 4 月 30 日の期間に、当院において治療された脳動脈瘤症例のうちで以下の全てを満たすものとします。 1) 内頸動脈瘤、脳底動脈瘤および後大脳動脈瘤 2) 後大脳動脈もしくはその分枝に脳血管バイパスが行われた症例 3) 動脈瘤血流の改変目的に後大脳動脈もしくは後交通動脈を遮断した症例(不完全遮断に終わったものを含む) ●利用する情報 診療録その他記録、各種検査結果など記録又は保存された書類、画像等
試料/情報の 他の研究機関への提 供及び提供方法	他の研究機関への情報の提供あり 高知大学へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、各施設の研究責任者が保管・管理します。
研究代表機関	高知大学医学部附属病院 脳神経外科 准教授 福田 仁
個人情報の取り扱い	本研究の目的を達成するために必要な範囲を超えて診療録からの個人情報を取り扱いません。また、得られた情報は個人が特定されないように加工した上で、細心の注意を払い安全に管理します。 なお、本研究により得られる研究結果は個人が特定されることはない形でまとめます。他機関の研究者に既存試料・情報を提供する場合は、対応表は提供せず、個人の識別が出来ないよう措置を行います。
問い合わせ・連絡先	東京警察病院 脳神経外科 03-5343-5611(代表)